

萩城下町マラソンの源流

～香川津二孝子～

200年前の医学と今

萩城下町マラソンは今年で15回目の地域スポーツイベントとして有名ですが、その源流思想は意外に深く、古くは香川津二孝子まで遡ることができます。病気回復や祈り、それぞれの願いを込めて走るの、今も昔も変わらない姿と思います。200年前に松本川流域で起こった事件を、医学史から再検し、さらに現代医学からも臨床推論を行うことで、我々ができる“今”を創出します。

日時: 11月16(日)

10時～11時

場所: 萩図書館 2階

受講料: 無料

定員: 30名(要申込)

講師 中村浩士先生

略歴

山口大学医学部卒
山口大学医学部 准教授
(地域医療推進学講座
第二内科)



専門 総合内科
医史学



2013.12.8 第14回萩市城下町マラソン

中村先生

香川津の二孝子について

福井権蔵、田中利吉兄弟は城東小畑村の人で、義兄弟。母が妹を出産後、肥立ちが悪く病んでいた。母の回復を願い、兄弟揃って日に数回水に浴し、金毘羅社の祠(現在の円政寺)に詣でた。

文化12(1815)年12月11日の夜は日暮れに海水に浴し、裸足で出かけた。その夜は風が激しく吹き、拳のような雪や霰が落ちてくるような夜だった。既に7日間の断食を行っていたこともあり、金毘羅社を詣でたあと、ついに2人とも力尽き、亡くなった。権蔵は22歳、利吉は16歳だった。

この2人の兄弟の話を聞いた10代藩主毛利斉熙公は、涙を流して憐れみ、文化13(1816)年、2人の行を顕彰し、医徳寺(香川津)境内に「紀二孝子事」碑を建立した。

その後この碑は大正3(1914)年の百年忌を営むに際し、新川に移建し、「移孝子碑記」の碑が傍に建立された。さらに昭和13(1938)年には「香川津二孝子絶命之处」という碑が松本川の東側に建立、昭和39(1964)年には「紀二孝子事」碑と「移孝子碑記」の2つを「香川津二孝子絶命之处」碑の北川に並べて建立された。

参加申込書

氏名	住所	連絡先